

出水期の
安全・安心確保へ

長岡市危機管理防災本部
危機対策担当課長



長岡市

水害時の車による避難先を拡充 見附市と避難施設の相互利用協定を締結

長岡市は、水害時の「長岡方式の避難行動」における市民の避難先を拡充するため、見附市と避難施設の相互利用協定を締結しました。

信濃川氾濫による大規模水害時は、長岡市が開設する避難場所だけでは全ての避難者を受け入れることができません。そのため、安全な自宅の上の階のほか、浸水しない地域への車等での避難を呼びかける中、選択肢の一つとなる車中避難場所の確保の一環として、見附市へ協力を依頼し、避難先の拡充を図ったものです。

また、刈谷田川の洪水時は、勤務等で長岡市に滞在している見附市民が帰宅することができなくなることを想定し、長岡市施設の駐車場へ見附市民が車で一時滞在することについて長岡市が協力するものです。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、周知にご協力くださるようお願いいたします。

長岡市・見附市の水害時における施設相互利用に関する協定

1 締結日 5月31日（水）

2 協定内容

(1) 信濃川洪水時に長岡市民が車による一時的な避難先として下記の見附市施設駐車場を利用（見附市民も利用）

施設名	所在地	駐車台数※
みつけイングリッシュガーデン 駐車場	見附市新幸町 35 番地	約 120 台
見附運動公園駐車場	見附市本町字焼田所 1308 番地 3	約 400 台
見附市大平森林公園駐車場	見附市内町 1432 番地	約 200 台
見附市市民野球場駐車場	見附市片桐町 500 番地	約 100 台

(2) 刈谷田川洪水時に見附市民が車による一時的な避難先として下記の長岡市施設駐車場を利用（長岡市民も利用）

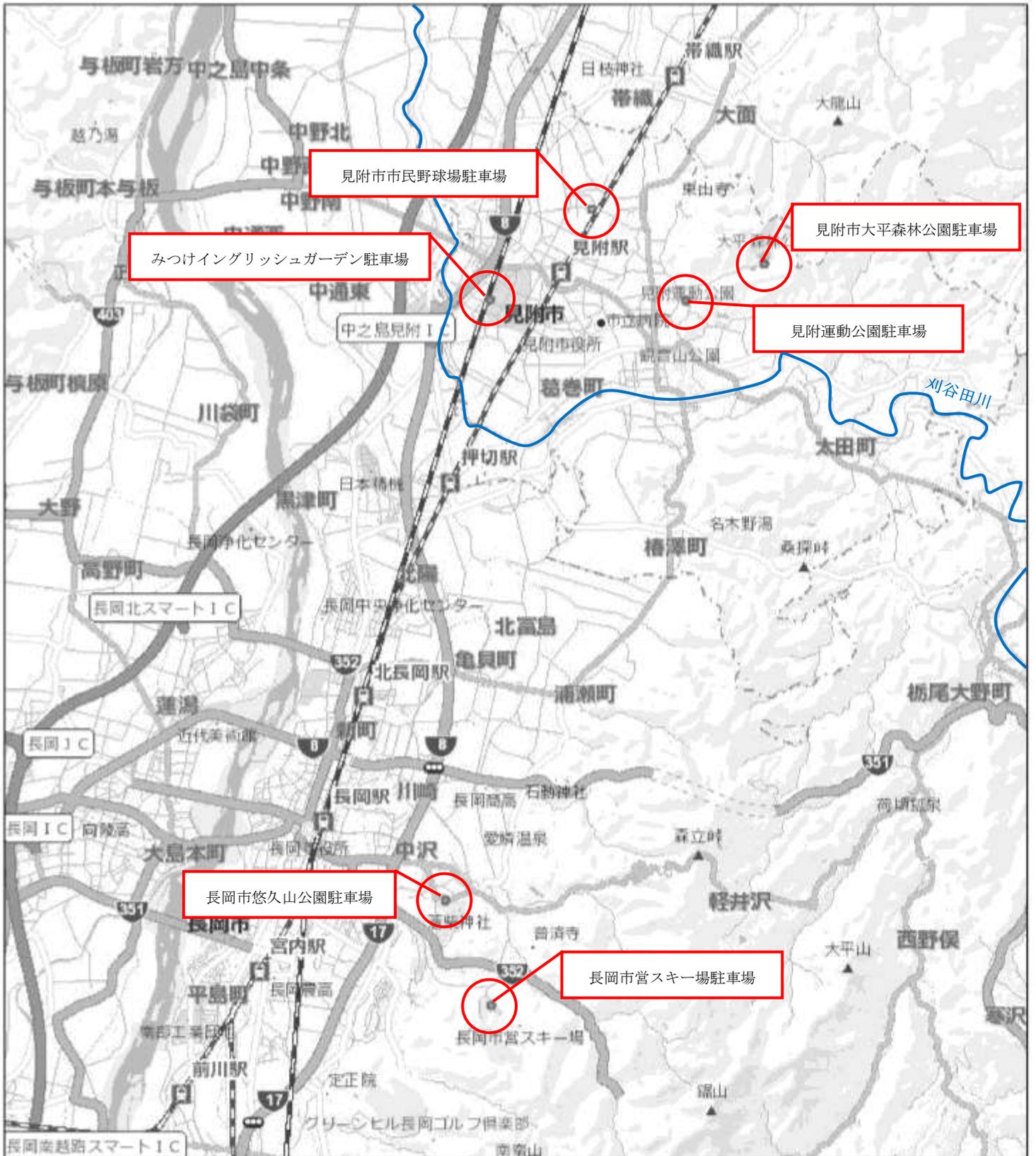
施設名	所在地	駐車台数※
長岡市営スキー場駐車場	長岡市栖吉町 3300 番地	約 800 台
長岡市悠久山公園駐車場	長岡市御山町 80 番地 5	約 850 台

※駐車可能台数は、利用状況や時期、天候等により変動します。

位置図は裏面のとおり

問い合わせ：長岡市危機管理防災本部 入澤 TEL 0258-39-2262
見附市企画調整課危機管理室 稲田 TEL 0258-62-1700

位置図



長岡方式の避難行動（信濃川）のイメージ

1 避難行動判定フロー

① わが家の特徴を確認

避難に使える車 有・ない

上階への避難を想定建物の階数 1・2・3階以上

浸水しない区域に頼れる知人・親戚 有・ない

② 地図で自宅の危険性を確認

洪水時の自宅周辺の浸水する区域と深さ、激しい流れでの倒壊の恐れ、避難時の危険箇所

③ 避難行動、避難先、移動手段を決定

避難先まで、想定している手段で平時に移動して確認しておく

2 信濃川早期警戒情報

・避難の準備や早めの避難行動を促す情報として、避難情報を発令する前の警戒レベル2以下で発表

⇒浸水想定区域外の避難場所を開設

5 災害発生または切迫	緊急安全確保 ※必ず発令するものではない	命の危険 直ちに安全確保！
〜〈警戒レベル4までに必ず避難！〉〜		
4 災害の恐れ高い	避難指示 ※これまでの避難勧告のタイミングで発令	危険な場所から全員避難
3 災害の恐れあり	高齢者等避難	危険な場所から高齢者などは避難 ※高齢者など、要支援者以外でも危険を感じたら自主的に避難
2 気象状況悪化	信濃川早期警戒情報 大雨・洪水注意報	避難の準備・確認 浸水しない場所へ
1 今後気象状況悪化の恐れ	早期注意情報	災害への心構えを高める

警戒レベル2以下で発表

3 長岡方式の避難行動

自宅内や車移動による安全確保を最優先に考え、市が開設する避難施設だけでない**避難行動**

まずはこちらの行動

浸水しない場所へ車などで避難

または

自宅の上の階に避難

※下記すべてに該当
・上の階が浸水しない
・家屋が倒壊しない

できない場合

浸水想定区域内の市が開設する避難場所(2階以上等)へ避難

※左記以外の方

4 避難者数シミュレーション

・避難対象者は19.8万人。

・市が開設する避難場所の収容人数は9.8万人。

・長岡方式の避難行動の実現により、避難場所への避難しか選択できない方のスペースが確保できる。

避難先	人数 (万人)
1 車等で浸水しない場所	4.8
2 自宅等の上の階	5.2
3 市が開設する避難場所	9.8

